

# 平成27年度供給計画の概要

## 1. 電力需要見通し

### 〔販売電力量〕

- 平成27年度の販売電力量は、景気が回復基調で推移すること等から 2,614億kWh(前年度比 + 0.8%)となる見通しです。
- 中長期的には、平成28年度からの全面自由化等による競争の激化の影響を織り込んだ結果、平成25～36年度の年平均で 0.6%と、マイナスの伸びとなる見通しです。

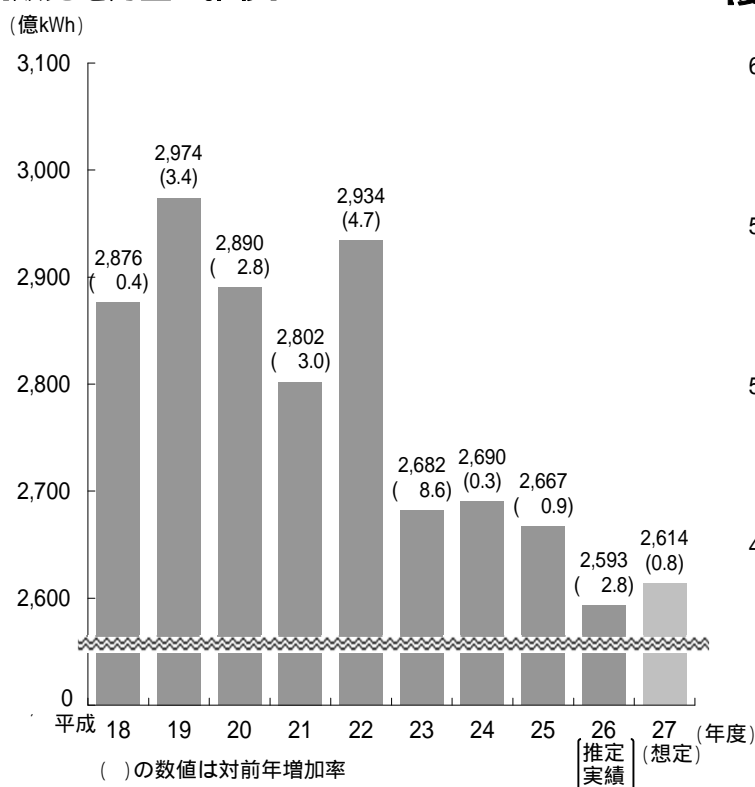
### 〔最大電力〕

- 平成27年度は、前年度の気温影響からの反動減等により、4,773万kW(前年度比 1.1%)となる見通しです。
- 中長期的には、販売電力量と同様に、平成28年度からの全面自由化等による競争の激化の影響を織り込んだ結果、平成25～36年度の年平均で 0.6%と、マイナスの伸びとなる見通しです。

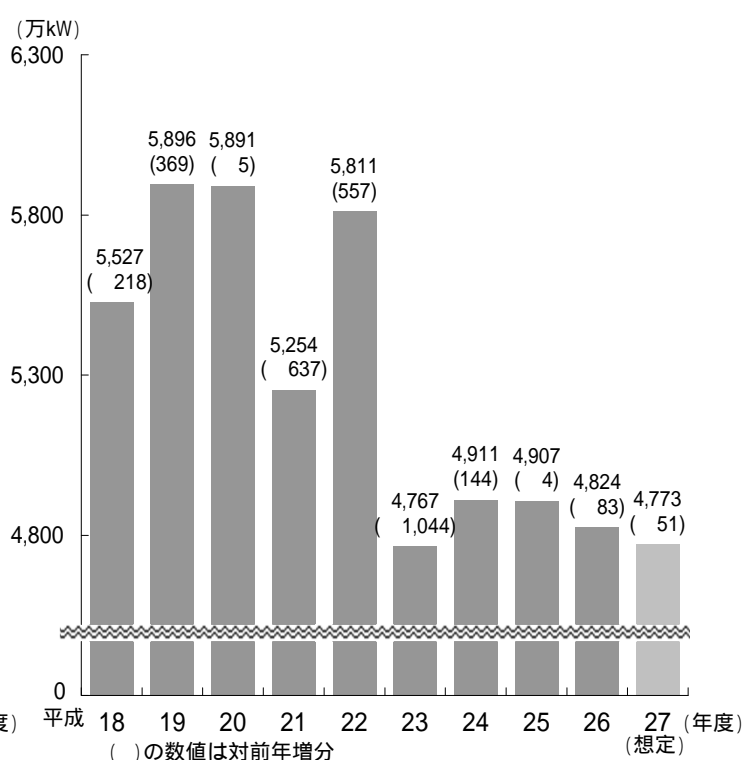
		平成25年度 実績	平成26年度 推定実績	平成27年度	平成36年度	平成25～36年度 年平均増加率 (%/年)
販売電力量 (億kWh)		2,667	2,593	2,614	2,501	-
	対前年増加率 (%)	0.9 ( 0.7)	2.8 ( 1.4)	0.8 (0.7)	-	0.6 ( 0.4)
夏期 最大電力	送電端 最大3日平均 (万kW)	4,907	4,824	4,773	4,600	-
	対前年増加率 (%)	0.1 ( 0.9)	1.7 ( 3.1)	1.1 (1.0)	-	0.6 ( 0.5)

(注)販売電力量の( )内は気温うるう補正後。最大電力の( )内は気温補正後の増加率。

### 〔販売電力量の推移〕



### 〔夏期最大電力の推移(送電端最大3日平均)〕



## 2. 電源設備計画

### 【主要な電源開発計画】

	地点名	出力(万kW)	運転開始年月
水力	神流川3～6号	47×4	37年度以降
	葛野川3号	40	37年度以降
LNG 火力	川崎2号系列2軸, 3軸	142 (2号系列合計は192)	28/1, 28/10
	横浜7号系列(増出力)	+ 2.7×4	28/7, 27/7, 29/7, 29/1
	横浜8号系列(増出力)	+ 2.7×4	29/4, 30/1, 28/1, 28/4
	富津2号系列(増出力)	+ 12	28/7, 30/3, 31/8, 30/8, 29/3, 31/3, 29/8
	五井1号系列	213	37年度以降
原子力	東通1号, 2号	138.5×2	未定
新エネ	東伊豆風力	1.837	27/8

### 【電源の廃止計画】

	地点名	出力(万kW)	廃止年月
緊急設置 電源	大井2号ガスタービン	8.1	27/3
	姉崎1～4号ディーゼルエンジン	0.56	27/3

## 3. 流通設備計画

### 【主要な送変電設備整備計画】

	件名	電圧(kV)	規模	運転開始年月
送電	川崎豊洲線新設	275	22.2km	28/3
変電	大井ふ頭変電所新設	275	900MVA	29/3
	港北変電所変圧器増設	275	450MVA	29/3
	代官山変電所新設	275	600MVA	37年度以降

(注) 送電の規模欄は巨長, 変電の規模欄は増加出力を示す。

## 4. 広域運営

### 【電源の広域開発計画】

	地点名	開発会社	出力(万kW)	運転開始年月
原子力	大間	電源開発(株)	138.3	未定

### 【広域連系設備の整備計画】

	件名	電圧(kV)	規模	運転開始年月
50Hz-60Hz 連系	東京中部間 直流幹線(仮称)新設	直流 ± 200	89km	32年度
	新信濃交直変換 設備(仮称)新設	-	90万kW	32年度

## 5. 入札による火力電源調達計画

### 【火力電源の入札募集(2回目)】

供給開始時期	募集規模	電源タイプ	契約供給期間
31/4～36/3	600万kW	年間基準利用率 70～80%	原則15年間

LNG火力の電源調達については、昨今の原油価格やガス価格の急激な変動により、ヘンリーハブリック比率を固定した燃料費調整指標による入札が困難となる見通し。したがって、LNG火力については、適正かつ適切な別途の入札を早急に実施予定。

### 【火力電源の入札募集(島嶼分)】

供給開始時期	地点および募集規模	電源タイプ	契約供給期間
～30/6	八丈島:6,500kW、三宅島:2,500kW 神津島:2,000kW、父島:1,500kW	容量(kW)での契約	原則15年間